



ボランティア部門
《大学等》

農林水産大臣賞

食育プログラム開発チーム 食育戦隊ゴハンジャー 〈山口県立大学〉

(山口県) 活動期間 10年

地域の子供たちの心に届く食育プログラム“食育戦隊ゴハンジャー”の取組

ゴハンジャーによる食育活動

平成18年度から三色食品群をイメージしたキャラクター「ゴハンジャー」や五感を用いて実際に体験できるように工夫したオリジナル教材を用いて、学校やスーパーマーケット等、子供たちの生活の場へ出向き、楽しみながら食について学べる食育活動（年6回、のべ950名参加）を実施し、食への興味・関心を高めています。



食育戦隊ゴハンジャー

効果的な情報発信

参加者の年齢や活動目的に応じて効果的な教材を作成し、絵本やワークブックはプログラム参加者以外にも理解できる内容とし、無償配布を行っています。
チームの食育活動は、毎年度の活動報告書及び大学ホームページにて情報発信をしています。



作成した教材の一例と活動の様子

連携したプログラムと効果の分析

連携しているスーパーマーケットでは、買い物や調理体験だけでなく、生産者から届いた食材の袋詰めやレジ打ち等、食べ物が消費者の手に渡るまでの工程を体験できる、施設の強みを活かしたプログラムを実施しています。栄養学科の教員および学生メンバー約70人がお互い協力し合い、保護者アンケートの他、活動中の子供たちの発言の記録結果等をメンバーで分析、共有し継続的な食育につながるよう工夫しています。



スーパーマーケット（コープやまぐち）での取組



チーム発足から多くのメンバーがこの活動に関わり、先輩から後輩へ引き継がれてきたものを評価していただき、大変うれしく思います。これからも食育戦隊ゴハンジャーの活動が地域の皆様に愛されるように、より一層努力してまいります。

山口県立大学 看護栄養学部栄養学科
准教授 加藤 元士



ボランティア部門
《大学等》

消費・安全局長賞

あぐりちゃれんじ 〈北海道教育大学釧路校〉

(北海道) 活動期間 5年

親子の食農体験を通じた行政・教育・市民の連携と人材育成

若い世代を中心とした食育の推進

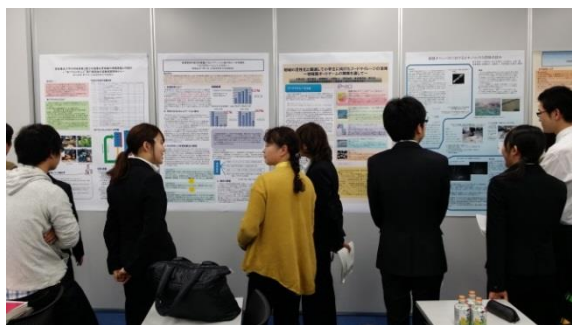
釧路市に住む親子を対象に、大学農場において年間20回の食農体験を実施し、食育や農業への知識・関心を深めるとともに、発達障害をはじめ様々な児童との関わり方を学び、親同士の子育てにおける不安・悩みを共有することで共に育つ機会を作っています。大豆、野菜等の栽培体験、加工体験（味噌づくり、甜菜シロップ・にんじんジャム・トマトピューレ等）を通じ、親子で育てる楽しみや食べる喜びを体感しています。



農体験の様子

教員を目指す学生の人材育成の場

教員を目指す学生にとっては、食育・食農教育実践を通年で展開できる能力の育成に資するものとなっています。講師役の大学生は、日本農業検定2級を取得し、基礎的知識を取得しています。



学会発表の様子

食育を効果的に推進する組織体制

大学と学生と親との三者によって実行委員会を設置し、食農体験の他に、野外教育研究会との野外散策、食物アレルギーや発達障害、アンガーマネジメント等に関する学習会を実施しています。



野外教育研究会連携の様子



保護者意見交換会の様子

食農体験活動ごとに子供の成長が感じられ、毎回元気をもらっています。子供から大人まで、それぞれの悩みを共有したり、のびのびと活動できるよう、今後も多くの意見交換をしながら、活動に取り組んでいきたいと思えます。

あぐりちゃれんじ学生理事

藤田 理紗 (大学4年生)

永楽 智子 (大学4年生)

澤田 加奈 (大学4年生)

藤野 千明 (大学3年生)





ボランティア部門
《大学等》

消費・安全局長賞

食品ロス削減サークル 〈美作大学〉

(岡山県) 活動期間 3.5年

フードドライブ活動を主とした食品ロス削減活動及び食品の有効活用

食の循環や環境を意識した 食育の推進

NPO法人フードバンク岡山と連携し、家庭で余った食料品を必要としている人に贈るフードドライブ活動で寄贈された食品の受け取りや仕分け分配作業を行っています。また、フードバンク活動やフードドライブ活動で寄贈された食品を活用し、「ぼかぼか食堂」や「子ども食堂」を開き、地域の高齢者や子供たちに共食の場を提供し地域づくりに貢献しています。



「ぼかぼか食堂」で近隣の高齢者の方に
食品ロスの話とメニューの説明

食品ロス削減の普及

子供たちが楽しく食品ロスの実態や食品ロス削減の大切さを理解できるよう、「食品ロス削減かるた」や「食品ロス削減すごろく」を作成し、エコフェスタや学園祭等イベントで活用し、子供たちや家族連れに親しんでもらっています。メディアで活動を取り上げてもらうなど、食品ロス削減の普及に取り組んでいます。



エコフェスタin津山で参加者が「食品ロス削減かるた」
「食品ロス削減すごろく」をしている様子

未来の管理栄養士の養成のために

管理栄養士養成施設である大学として、未来の管理栄養士や栄養士に、食品ロスに対する認識を持ち、将来、地域社会に対して食品ロス削減を指導するキーマンとなって欲しいとの思いで活動を進めています。



白梅祭（美作大学学園祭）での
食品ロスとフードバンクのパネル展示



「子ども食堂」で、学生が食事を調理している様子

日本の食品ロスは632万トン。食料自給率は主要国中最低。多くの食料を輸入。近年貧困や格差拡大で生活困窮者増加。食品ロス削減は必須。

将来食の専門家として、食品ロス削減を学生や市民にお伝えしていきます。

食品ロス削減サークル
原田 佳子（顧問）
島田 月帆（部長）
森本 絢音（副部長）

